

兵庫県保険医協会 但馬支部ニュース

No.116

2010年5月25日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先 〒668-0373 豊岡市但東町久畑1 2 6
高橋診療所 TEL/0796-55-0036 FAX/0796-55-0008

但馬支部新点数Q&A研究会開催

～改定内容を分かり易く解説～



（写真上）講師を務めた下山副支部長
（写真右）会員・スタッフらが参加



但馬支部は4月29日、じばさん但馬5階で医科診療所向けの新点数2次研究会を開催し、医師をはじめスタッフら16人が参加した。

今回の改定は、全体でプラス0.19%と「10年ぶりのプラス改定」とされているが、診療所再診料の2点引き下げ、急性期入院医療等への配分等により、診療科によっては大幅なマイナス改定になることも懸念されている。

講師を務めた下山均副支部長は、保団連発行テキスト『新点数Q&A』を用いて、その内容と4月以降に出された疑義解釈など詳細に解説した。特に問い合わせの多い、退院後の在宅患者受け入れ、入院中の患者の他医療機関受診時の注意点として、「病院からの電話での連絡や依頼には、かならず必要事項を全て記載し、責任者を明記した文書での連絡を求めること、そして文書を証拠として保存記録しておくこと」と説明した。

支部では今後も新点数研究会や在宅医療点数対策、初級医療事務講座など会員医療機関に役立つ企画を予定している。

但馬の息吹

坂本 健一 先生(朝来市) を支部幹事 藤井先生が訪問



「患者さんを最後まで診たい」と
坂本先生

朝来市で診療所と通所リハビリテーション施設をご開業されている坂本健一先生を、支部幹事の藤井高雄先生が訪問しました。

開業されるまで

坂本先生は、自治医科大学を1980年にご卒業。その後2年間、内科、小児科、外科、産婦人科、救急等の多科ローテーション研修、9年間各地の病院・診療所で地域医療に従事、その後公立八鹿病院で11年間の勤務医を経て、2002年7月にご開業されました。

診療のモットー

坂本先生は、「自分が受けたいと思う医療」をモットーとして、日々の診療に取り組まれておられます。専門である一般内科、糖尿病、循環器内科、呼吸器内科、胃腸内科、腹膜透析、血液

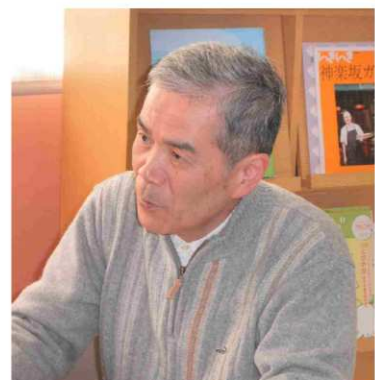
透析、在宅医療、訪問看護まで外来総合医療を実践されておられます。また、内視鏡、CT、MRI等、院内で実施できない検査以外は、院内で検査を実施・判断できる体制を備えられています。

「患者さんを最後まで診たい」

「患者さんを最後まで診てあげたい」との思いから、開業2年後に血液透析をはじめられました。

坂本先生は血液透析をはじめられたきっかけを、「開業当初より腹膜透析は実施していましたが、その方たちもいずれ血液透析に移行します。脳血管障害や循環器障害などの疾患は、病院などで治療後、診療所でも引き続き受け入れは可能です。しかし、腎不全などで透析処置をせざるを得ない患者さんは、スタッフ・設備がなければ自院でのフォローが出来ません。患者さんを最後まで責任もって診てあげたい、との思いから自院で血液透析を始めました」と話されました。

診療所で血液透析を実施される際、スタッフへの教育を特に力を入れて取り組まれたそうです。「透析は非常に難しい処置です。血液透析を始めるにあたり、診療所で勉強会を行いました。また、看護師は関連書籍を取り寄せ、独自に学習もしてくれたようです」と当時のご苦労を話されました。



幹事の藤井先生が訪問

（2面からつづく）

生活指導の重要性

高血圧や糖尿病などの生活習慣病の患者さんに対して、生活指導に力を入れて取り組まれています。「糖尿病などの生活習慣病は、薬による治療だけでは、決して良くなりません。当院では、必要なら薬を処方しますが、生活習慣の見直しと改善をまず行います。生活習慣の改善なくして薬による治療をしても、見掛けだけを治した様なものです。まずは、患者さんの生活を見直し、改善してゆくことが重要です」と強調されました。



但馬の医療に携わるなかで感じること

地域の病診連携について、「多くの重症患者さんをかかえながら、日々診療できるのも近隣の医療機関のバックアップがあってこそです。患者さんの急変など緊急事態にいつでも受け入れて頂いている八鹿病院をはじめ近隣の医療機関には感謝しています」と話されました。



（写真上）血液透析療法を院内で実施
（写真下）併設の通所リハビリテーション施設

地域への恩返し～通所リハビリテーション施設の発足～

地域住民の医療ニーズに応えるため、診療所を充実させ、多岐に渡る疾患に対応されてこられた坂本先生。診療所も軌道に乗った頃、「地域に恩返ししたい」という思いから、通所リハビリテーション施設を立ち上げられました。坂本先生は、「介護施設の経営は厳しく、赤字が続いていますが、利用者からは喜ばれており、地域への恩返しと思い取り組んでいます」と話されました。

但馬で開業されたきっかけ

但馬で開業されたきっかけを坂本先生は「人は嫌いではないが、人ごみが嫌い（笑）。但馬の自然にあこがれて開業しました。但馬で医師がなぜ定着しないのか不思議、住むには最高です。教育の面で地方を敬遠される方もいますが、但馬だから勉強できないということはありません。医師は、日々勉強。毎日の臨床から学ぶことが多いです」と語られました。休日は、山登りやテニスなどご夫婦で楽しまれているそうです。

最後に

協会に対して、「研究会も充実している。診療報酬の対応もきめ細かで助かっている」、「開業医と病院の連携はとても大切。協会も病院との関係を密にして欲しい」とのご意見をいただきました。

「自分が受けたいと思う医療の実践」を目指している坂本先生。地域医療向上のため、日々の診療に妥協せず熱意を持って取り組まれている坂本先生でした。

●但馬地区市民公開講座●

肝臓のこと

かんぞう

もっと
知りたい

先着順
定員 **250名**
入場無料
(申し込み不要)

平成 **22**年 **6**月 **19**日 **土**

14:00～16:45 (開場13:30)

●会場●

じばさんTAJIMA 2F [多目的ホール]

住所：兵庫県豊岡市大磯町1番79号
TEL：0796-24-5551



●参加方法●

どなたでもご参加いただけます。
直接会場へお越しください。

定員 約250名

お問合せ先

兵庫県保険医協会
TEL/078-393-1805

(土日祝を除く10:00～16:00)
[12:00～13:00除く]



●プログラム●

■講演Ⅰ

「ウイルス性肝炎の正しい理解
—GPT、ウイルス量、日常生活—」

座長：公立豊岡病院 消化器科部長 上田 通雅 先生
演者：姫路赤十字病院 内科部長 奥新 浩晃 先生

■講演Ⅱ

「ここまで進んだC型肝炎治療」

座長：浜野医院 院長 濱野 建一 先生
演者：県立加古川医療センター 診療部長 伊 聖哲 先生

■質問コーナー

司会 濱野 建一 先生
回答者 奥新 浩晃 先生 伊 聖哲 先生

■ごあいさつ

日本肝臓病患者団体協議会 代表幹事 山本 宗男 氏
肝炎友の会 兵庫支部 会長

共催：兵庫県保険医協会、中外製薬株式会社／後援：朝来市医師会、豊岡市医師会、養父市医師会、肝炎友の会兵庫支部